

定期作況報告

平成19年10月
(10月20日現在)

北海道立北見農業試験場

1. 気象経過

9月下旬：最高気温は平年よりやや高く、最低気温は平年よりやや低く、平均気温は平年並であった。降水量は平年より少なかった（平年比58％）。日照時間は平年並であった（平年比119％）。

10月上旬：最高気温は平年より高く、最低気温は平年並、平均気温は平年よりやや高かった。降水量は平年より少なかった（平年比25％）。日照時間は平年より多かった（平年比146％）。

10月中旬：最高気温、平均気温は平年より極めて低く、最低気温は平年よりやや低かった。降水量は平年並であった（平年比82％）。日照時間は平年よりやや少なかった（平年比75％）。

以上のことから、この1か月間（9月下旬～10月中旬）は、気温は平年並、降水量は平年より少なく、日照時間は平年並であった。

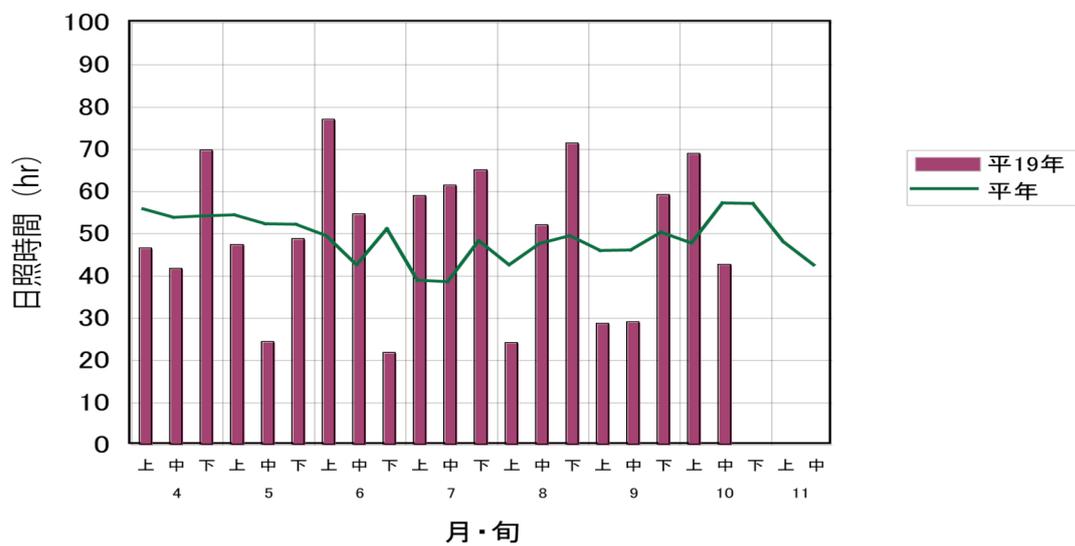
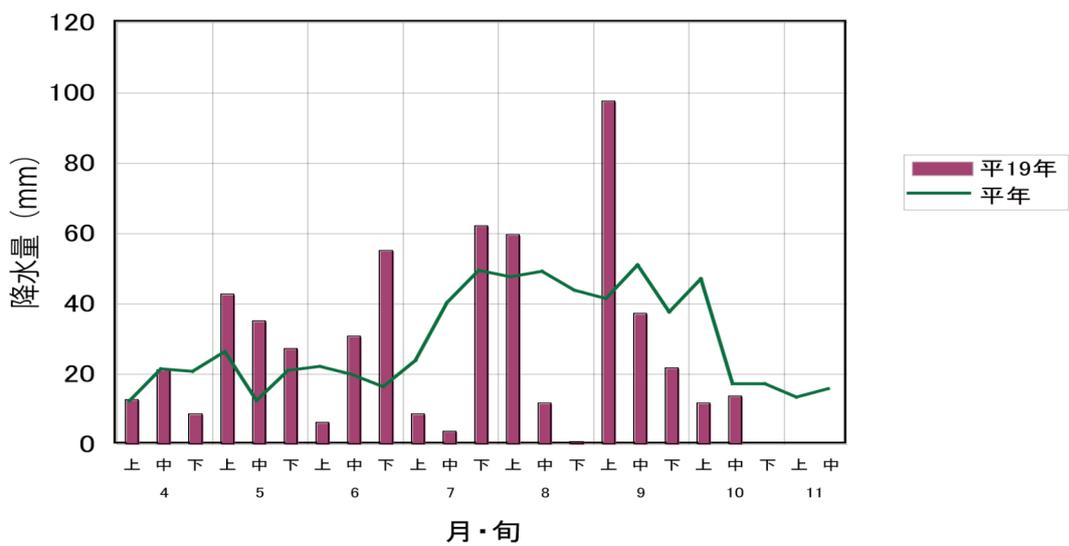
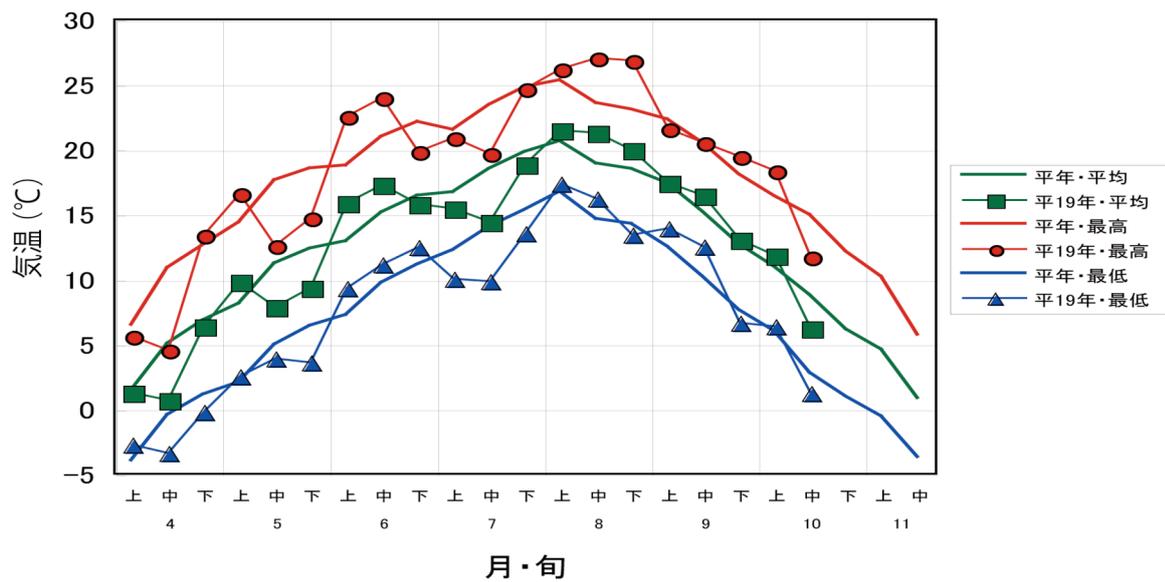
注）降水量、日照時間についての平年値との比較表現は、各旬における過去10年間の出現値の幅に基づいているため、「平年並」に含まれる値の範囲は旬毎に異なる。

気象表

項目 月旬	平均気温（℃）			最高気温（℃）			最低気温（℃）		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月下旬	13.0	12.7	0.3	19.4	18.0	1.4	6.6	7.6	△1.0
10月上旬	11.8	10.9	0.9	18.4	16.4	2.0	6.4	5.9	0.5
10月中旬	6.2	8.7	△2.5	11.7	14.9	△3.2	1.2	2.7	△1.5
平均	10.3	10.8	△0.5	16.5	16.4	0.1	4.7	5.4	△0.7

項目 月旬	降水量（mm）			日照時間（h）		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月下旬	21.5	36.9	△15.4	59.1	49.7	9.4
10月上旬	11.5	46.4	△34.9	68.8	47.2	21.6
10月中旬	13.5	16.5	△3.0	42.5	56.6	△14.1
合計	46.5	99.8	△53.3	170.4	153.5	16.9

- 注）
- 1）観測値は、置戸町境野のアメダスデータである。
 - 2）平年値は前10か年間の平均である。
 - 3）農試では9月25日に雹が降り、一部農作物に被害が発生した。



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走支庁管内全体を代表するものではありません。

1) とうもろこし (サイレージ用) 作 況 : 良

事 由 : 平年より7日遅い9月26日に収穫を行った。収穫時の稈長は平年より高く、収穫時の熟度は平年並で、総体の乾物率は平年より高かった。乾物総量および推定TDN収量の平年比はともに118%であった。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
収穫期 (月・日)	9.26	9.19	7
収穫時の熟度	黄熟初 ～中期	黄熟初 ～中期	-
稈長(cm) (9月20日)	277	261	16
生総重(kg/10a)	6554	6487	67
乾物茎葉重(kg/10a)	1003	866	137
乾物雌穂重(kg/10a)	1199	1000	199
乾物総重(kg/10a)	2203	1866	337
同上平年比 (%)	118	100	18
推定TDN収量(kg/10a)	1603	1354	249
同上平年比 (%)	118	100	18
総体の乾物率 (%)	33.7	29.0	4.7
乾雌穂重割合 (%)	54.4	53.7	0.7
有効雌穂割合 (%)	100.0	99.4	0.6

注) 平年値は前3か年の平均 (供試品種が変更されたため)。

推定TDN収量 = 乾物茎葉重 × 0.582 + 乾物雌穂重 × 0.850。

2) 大 豆

作 況：平年並

事 由：成熟期は平年並～1日早く、「トヨコマチ」は9月26日、「ユキホマレ」は9月28日であった。「トヨコマチ」は百粒重が平年をやや上回ったものの、9月25日の降雹により約1割の莢が裂莢したため、着莢数は13%少なく、子実重は平年より8%少なかった。「ユキホマレ」は、着莢数、百粒重共にほぼ平年並で、子実重は平年並であった。

「トヨコマチ」の子実重は若干劣るが、当管内で栽培面積の多い「ユキホマレ」が平年並であることから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	トヨコマチ			ユキホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
成熟期 (月.日)	9.26	9.27	△ 1	9.28	9.28	0
主茎長(cm) (成熟期)	65.0	58.8	6.2	56.8	57.7	△ 0.9
主茎節数 (成熟期)	11.9	11.1	0.8	10.4	10.9	△ 0.5
分枝数(本/株) (成熟期)	5.9	5.5	0.4	5.8	4.8	1.0
着莢数(個/株) (成熟期)	55.9	64.5	△ 8.6	71.0	67.7	3.3
子実重(kg/10a)	312	338	△ 26	358	363	△ 5
同上平年比(%)	92	100	△ 8	99	100	△ 1
百粒重(g)	34.8	32.3	2.5	33.6	33.2	0.4
屑粒率(%)	1.0	0.6	0.4	0.9	1.7	△ 0.8

注) 平年値は前7か年中、平成13年(最凶)、17年(最豊)を除く5か年の平均。

3) 小豆

作 況：やや不良

事 由：「エリモシヨウズ」の成熟期は、平年より7日早い9月24日であった。子実重の傾向は品種により異なった。中生の「エリモシヨウズ」は、着莢数が平年より14%少なく、百粒重もやや軽かったことから、子実重は13%少なかった。一方、早生の「サホロシヨウズ」は、百粒重は平年より軽かったが、着莢数が17%上回っていたため、子実重は12%多かった。

「サホロシヨウズ」は多収であるが、当管内で栽培面積の多い「エリモシヨウズ」が低収であることから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	エリモシヨウズ			サホロシヨウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
成熟期 (月.日)	9.24	10.1	△ 7	9.15	9.22	△ 7
主茎長(cm) (成熟期)	71.5	61.9	9.6	73.4	47.5	25.9
主茎節数 (成熟期)	13.1	13.6	△ 0.5	12.4	11.1	1.3
分枝数(本/株) (成熟期)	5.9	3.6	2.3	5.5	3.8	1.7
着莢数(個/株) (成熟期)	41.9	48.7	△ 6.8	56.1	48.0	8.1
子実重(kg/10a)	356	410	△ 54	383	341	42
同上平年比(%)	87	100	△ 13	112	100	12
百粒重(g)	13.6	16.1	△ 2.5	13.4	16.8	△ 3.4
屑粒率(%)	2.5	3.8	△ 1.3	2.3	5.7	△ 3.4

注) 平年値は前8か年中、平成11年(最凶)、18年(最豊)および試験を中止した12年を除く5か年の平均。

4) 菜豆 作 況：不良

事 由：着莢数は平年並からやや多かったが、粒の肥大が全般に不十分で、百粒重が「大正金時」は平年より14%、「福勝」は13%軽く、屑粒に該当する充実不良粒が両品種共に発生した。また、着色不良粒や成熟期直前の降雨による色流粒の発生により、屑粒率が高かった。子実重は、「大正金時」は平年より21%、「福勝」は26%少なかった。

以上のことから、目下の作況は不良である。

調査項目	大正金時			福勝		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
着莢数(個/株) (成熟期)	23.3	20.2	3.1	19.7	18.7	1.0
子実重(kg/10a)	264	336	△ 72	279	379	△ 100
同上平年比 (%)	79	100	△ 21	74	100	△ 26
百粒重 (g)	64.3	75.0	△ 10.7	79.4	91.3	△ 11.9
屑粒率 (%)	9.2	5.3	3.9	22.4	5.2	17.2

注) 平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年の平均。

5) ばれいしょ 作 況：平年並

事 由：「コナフブキ」の枯凋期は平年より11日早い9月26日であったことから、上いも重、でん粉価、でん粉重ともほぼ前報並にとどまった。このため、前報において大幅に平年を上回っていた上いも重は、本報においてその差が小さくなり、でん粉重は平年比100%となった。

以上のことから、前報の「男爵薯」と併せ、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	コナフブキ		
	本年	平年	比較
枯凋期 (月.日)	9.26	10.7	△ 11
上いも数(個/株)	9.9	9.2	0.7
上いも1個重(g)	117	115	2
上いも重(kg/10a)	5111	4748	363
同上平年比 (%)	108	100	8
でん粉価(%)	21.6	23.3	△ 1.7
でん粉重(kg/10a)	1054	1058	△ 4
同上平年比 (%)	100	100	0

注) 平年値は前7か年中、「男爵薯」は平成15年(最凶)、17年(最豊)を、「コナフブキ」は平成15年(最凶)、18年(最豊)を除く5か年の平均。

6) てんさい

作 況：やや不良

事 由：褐斑病の発生が目立ったうえに、9月25日の雹害で茎葉の損傷が大きく、糖分の上昇・根の肥大共に大きく抑制された。収穫は平年並の10月19日に行った。移植栽培の2品種平均の根重は平年比99%、根中糖分は95%、糖量は94%であり、直播栽培の根重は平年比105%、根中糖分は98%、糖量は103%であった。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			モノホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
収穫期 (月・日)	10.19	10.20	△ 1	10.19	10.19	0	10.19	10.19	0
茎葉重(kg/10a) (収穫期)	6235	6415	△ 180	6389	6113	276	6173	4993	1180
根 重(kg/10a) (収穫期)	6419	6471	△ 52	6775	6863	△ 88	5916	5658	258
同上平年比 (%)	99	100	△ 1	99	100	△ 1	105	100	5
根中糖分 (%) (収穫期)	16.81	17.42	△ 0.61	16.90	18.02	△ 1.12	16.68	17.02	△ 0.34
同上平年比 (%)	96	100	△ 4	94	100	△ 6	98	100	△ 2
糖量(kg/10a) (収穫期)	1079	1125	△ 46	1145	1234	△ 89	987	955	32
同上平年比 (%)	96	100	△ 4	93	100	△ 7	103	100	3

注) 平年値は前7か年中、移植「モノホマレ」は平成12年(最凶)および17年(最豊)、移植「アーベント」は平成12年(最凶)および16年(最豊)、直播「モノホマレ」は平成14年(最凶)および16年(最豊)をそれぞれ除く5か年の平均。

7) 牧 草 (チモシー)

作 況 : 不良

事 由 : 10月2日に収穫した3番草は、草丈が平年よりやや低く、乾物収量は平年比83%と少なかった。また、1番草からの合計乾物収量は平年比83%の888kg/10aであった。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目		ノサップ		
		本年	平年	比較
刈取日(月.日)	3番草	10.2	10.6	△ 4
病害罹病程度	3番草	4.0	4.3	△ 0.3
草丈(cm)	3番草	41	46	△ 5
生草収量(kg/10a)	3番草	443	715	△ 272
	合 計	3731	4687	△ 956
乾物率 (%)	3番草	32.4	25.6	6.8
乾物収量(kg/10a)	3番草	144	173	△ 29
	合 計	888	1076	△ 188

注) 平年値は前5か年の平均(耕種概要・調査項目が大幅に変更されたため)。

付表1 各作物の耕種概要

作物名	一区面積 (㎡)	反覆	前作物	畦幅 cm	株間 cm	一株 本数	播種粒数 粒/㎡	播種量 kg/10a	株数 株/10a
1. 秋まき小麦	6.0	4	緑肥シロカラシ	30.0	条播	-	340(255)	-	-
2. 春まき小麦	6.0	4	緑肥シロカラシ	30.0	条播	-	340	-	-
3. とうもろこし	11.2	3	緑肥えん麦	75.0	17.8	1	-	-	7,491
4. 大豆	9.6	3	緑肥えん麦	60.0	20.0	2	-	-	8,333
5. 小豆	9.6	3	緑肥えん麦	60.0	20.0	2	-	-	8,333
6. 菜豆	9.6	3	緑肥えん麦	60.0	20.0	2	-	-	8,333
7. ばれいしょ	37.8	3	とうもろこし	75.0	30.0	1	-	-	4,444
8. てんさい	100	3	ばれいしょ	60.0	23.8	1	-	-	7,003
9. チモシー	2.7	4	緑肥えん麦	30.0	条播	-	-	2.0	-
10. たまねぎ	10.0	2	たまねぎ	30.0	10.5	1	-	-	31,750

注) 秋まき小麦の播種粒数欄の () は「ホクシン」の播種粒数を示す。

付表2 各作物の耕種概要

作物名	施肥量 (kg/10a)						備考
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他	
1. 秋まき小麦	6+3	20.0	9.6	4.0			
2. 春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0			
3. とうもろこし	14.0	22.0	12.0	4.0	3,000	炭カル:100	
4. 大豆	1.8	15.0	7.8	3.0			
5. 小豆	4.0	20.0	11.2	4.0			
6. 菜豆	4.0	16.0	9.3	3.3			
7. ばれいしょ	8.0	20.0	14.0	5.0			
8. てんさい	15.0	21.3	13.8	5.0			
9. チモシー	15.0	15.0	15.0	2.3			2年目草地
10. たまねぎ	15.0	31.0	15.0	2.8	2,000		